

公表

事業所における自己評価結果 (令和6年9月)

事業所名		保育所等訪問支援事業 夢んぼ		公表日 令和6年9月30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		適切である。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		適切である。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2		情報伝達を口頭のみでなく、文章も活用し目 標設定と振り返りを意識している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2		アンケートの実施をしている。	ご意見等はしっかり業務改善につなげていき ます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2		訪問後、他職員に情報共有したりMTで共有す るなどし業務改善に繋げている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2			法人内の他事業所からのご意見等で改善につ なげていきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2		定期的に事業所内研修に参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2		面談時に適切にアセスメントを行い、ニーズ や課題を確認をしたうえで計画書の作成をし ている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		支援に関わる職員で情報共有し、支援計画を 作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先で今後支援や課題設定が必要な場合、 配慮など確認しながら作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2		訪問後やMTで共有し、支援に繋げている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2		保護者だけの聞き取りだけでなく、保育所等 の施設で携わる方にも聞き取りし、アセス メントに反映している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2		ガイドラインに基づいて具体的な支援内容の 設定をしている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2		計画書の共有と、計画に沿った支援を意識し て療育に繋げている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行って いるか。	2		ホワイトボードを活用し、情報が足りない部 分や詳細は口頭でも確認し合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		勤務時間が違うため全員では難しいが、送迎 後に振り返りをしたり、翌朝に確認し共有す るようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2		訪問先の理念を尊重しながら、訪問に何っ ている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2		次への支援に繋がるよう、項目に分けて記録 を作成している。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2		保護者の方には面談時に、訪問先には必要に 応じて意向の確認を行い、計画書の見直しを している。		
関係 機 関 や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		協力医療機関、関係機関等、日頃から情報共 有し連携をとっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行の際には、ご本人の情報を共有できるよ う必要に応じて面談等行っている	

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		外部講師の研修に積極的に参加している。てんかん発作時の対応など向上に向けて取り組んでいる。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2		参加している。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		面談時や直接送迎の際にお子さまの発達状況や課題について共通理解ができるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		面談時に、ご家庭でもできるような情報を伝えるようにしている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		契約時にご説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		面談時での聞き取りで確認しながら、子どもによって最善の方法を話し合っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		面談時に、計画書とともに説明している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		面談時や送迎の際に困りごとなどを聞いたり、適切な支援ができるよう職員間で共有し支援に繋げるなどしている。	普段から相談しやすい体制作りをしています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		現在は行っていない。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談があった時は迅速に対応しています。事業所だけで対応できない場合は、相談員や関係機関と連携することもあります。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2			保育所等訪問支援での様子を個人情報の観点から発信できないことが多いが、職員の業務などは発信しています。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		鍵付きの書庫で管理し、取り扱いに気を付けている。事務所は防犯システムがある。		
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		子どもに合わせた身振りの配慮やわかりやすい表現、写真カードなどを活用。保護者の方には口頭だけでなく連絡帳の活用をしている。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		毎回の訪問で今後の課題や困ったことなどを確認し、必要な支援のアドバイスをしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問後に保育園の状況にもよるが、情報の共有をする機会を作るようにしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		訪問でのお子さまの様子を伝えたくて、支援内容の再度確認をしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		同意書をいただき、鍵付き書庫で管理している。	
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		お子さまにとってどんな支援が必要か、丁寧に話をし、時には会議等で支援のすり合わせをし信頼関係を築くことに努めている。		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		定期的に訓練を実施している。	ご家族には周知していただいているが訪問先にはお伝えしていない部分があるかもしれないため、取り組んでいることを発信していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		定期的に安全計画に、基づいて研修や訓練に参加している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止チェック表を毎月行っている。研修に参加するなどしている。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		保護者に同意を得て、計画書に記載している。	どのような場合に身体拘束を行うかについては、法人の役員会等で検討していきます。	